

文化財センター通信  
【かざぐるま】

# 風車

7

平成15年 7月1日発行



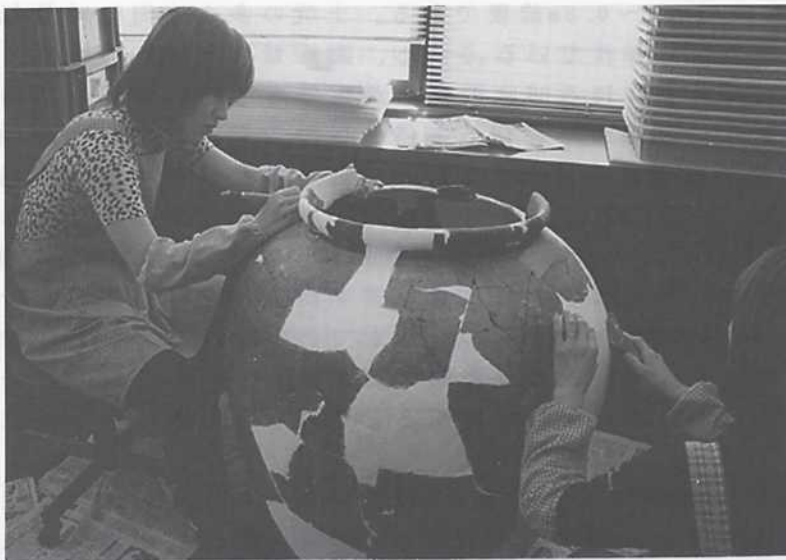
紀州の歴史と文化の風



〒640-8404 和歌山県和歌山市湊571-1

Tel : 073(433)3843 Fax : 073(425)4595

発行：財団法人 和歌山県文化財センター



■備前焼大甕の石膏復元作業（海南整理事務所）

## 主な内容

### 通信その1

センター事務局移転について

【柏原遺跡の発掘調査】

【紀南の社寺建築その1】

平成15年度事業計画

【お知らせとご案内】

—センター第13回速

報展の開催について—

## 通信その1 センター事務局移転について

専務理事 岩橋 驍

梅雨の季節となりました。みなさま方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、当センターは平成15年4月1日より事務局を移転しました。新しい事務局は和歌山市湊571-1で、大浦街道の舟津町交差点から約500m南に位置しています。まだ検討中ですが、簡単な土器などの展示施設なども作りたいと考えています。

当センターは、今年で発足以来17年目を迎え、県内における遺跡の発掘調査事業と出土遺物整理事業、歴史的建造物の保存修理事業と設計監理業務に職員一同熱心に取り組んでおります。

われわれのこのような日々の活動を広く県民のみなさまに知っていただくため、今年も文化財センター速報展を紀伊風土記の丘資料館と共催で、7月から9月にかけて、開催中です。関連行事としまして、講演会も行いますので、ご来場下さい。詳細は、お知らせとご案内をご覧ください。

## 【発掘現場最前線－橋本市柏原遺跡の調査－】

井石 好裕

柏原遺跡は橋本市柏原に所在し、紀ノ川の支流である山田川の西岸に位置しています。周辺は、北から南に向かってゆるやかに下降する平野部です。遺跡の東西には比高差30m前後の丘陵が南北方向に横たわっています。平成14年度に、一般国道24号橋本道路（京奈和自動車道）の建設工事に伴って発掘調査を実施しました。

調査前の状況は宅地及び水田・畑地です。調査対象地は4箇所に分かれるため、西から順に1～4区と呼称しました。以下、最も調査面積の大きい1区で検出した遺構を中心にその概要を記します。

第1遺構面で検出した遺構には、ピットや溝の他、多数の円形を呈する土坑がある。土坑の規模は、直径1.0～1.5m前後のものが最も多いが、小さいものでは0.4m前後のものも見受けられる。深さは残りの良いもので0.7～0.8m前後である。土坑の多くは側壁に黄色の粘土を巡らせ、床面にも同様に粘土が貼られている。また、数基では床面の外周が凹状に窪んだものや、側壁にタガの痕跡と思われる凹状の窪みが数条周っているものがある。また、焼土塊や金属が溶けた破片や破片が融着した赤色化したスサ入りの炉体片が多量に出土する土坑が1基あり、東壁面は赤く焼け締まり、その外側は還元し青灰色化している。近辺から鋳型が数点出土していることなどを考え合わせると、検出した土坑群は鋳造に関連した遺構であると判断してよいであろうが、どのように使用されたかは不明である。時期は、土坑内から出土した陶磁器等から18世紀後半から19世紀前半と判断される。文献によれば、柏原には14世紀代から18世紀の初頭まで鋳物師が工房を営んでいたとの記録があるが、工房跡と推定されているのは今回の調査地から北へ約400mの場所である。今回検出した遺構が文献に記された鋳物師集団とどのような関係にあるかは今後の課題である。

第2遺構面で検出した遺構は大きくは弥生時代と中世の2時期に分けられる。弥生時代の遺構には、方形周溝墓・竪穴住居・土坑・溝がある。中世の遺構は掘立柱建物・土坑等である。弥生時代の遺構は中期中葉と考えられる。中世の遺構は鎌倉時代が主で、一部室町時代のものがある。方形周溝墓の墳丘部は、東西が約9.5m、南北は約8mである。埋葬施設は検出できなかった。周溝の幅は1.9～3.2m、深さは0.4～0.7mで、埋土中には多量の礫が含まれている。また、南西隅の一部を掘り残して陸橋部としている。周溝からはコンテナ約4箱分の土器が出土し、東辺及び西辺からの出土量は南北辺に比べて多い。また、いわゆる大阪の生駒西麓産の土器が全体の20～25%を占めている。竪穴住居は2棟を検出した。共に円形を呈し、規模は直径約6.3mと5.4mで、深さは各々0.5mと0.2mである。中世の掘立柱建物は3棟を確認し、うち1棟は総柱の建物である。



弥生時代の方形周溝墓

弥生時代の竪穴住居と中世の掘立柱建物

## 【紀南の社寺建築 その1(寺院建築)】

寺本 就一

紀南地方の寺院建築の特徴を見ていきたいと思えます。

時代的には、紀南では正平13年(1357)に建てられた道成寺本堂が古く、那智山青岸渡寺本堂など中世の建物もありますがほとんどは江戸時代に建てられたものです。

宗派別の分布については、紀北は高野山の影響で真言宗の寺院が多いですが、有田郡・日高郡では浄土宗(西山浄土宗を含む)、浄土真宗の寺院が多くみられます。西山浄土宗が多いのは和歌山市の梶取本山総持寺の存在が大きく、浄土真宗は御坊と呼ばれた日高別院などを拠点に、広く農民層に信者を増やしていったからでしょう。日高の山間部や西牟婁郡・東牟婁郡では、禅宗の寺院が多くみられます。禅宗の寺院のほとんどが臨済宗で、由良の興国寺の存在が大きいと思われます。東牟婁郡では曹洞宗の寺院もみられます。

浄土宗寺院の本堂全般にいえることですが、その特徴は、凸字型の結界を設けて内部を前後に内陣と外陣に分けるところにあります。また、浄土真宗寺院の本堂の特徴は、内陣の両脇に余間があり、外陣との境に矢来があります。小さな本堂では矢来が省略されることがあります。三方に縁を巡らし、背面がお城のように土壁で塗り込められています。禅宗の建物では、土間床の仏殿としては、寛政9年(1797)に建てられた由良の興国寺法堂がありますが、紀南の禅宗の本堂は住宅風の方丈建築がほとんどです。

この他、道成寺には和歌山県で唯一の三重塔(県内には五重塔はない)があり、田辺市の高山寺多宝塔も紀南では数少ない塔の一つです。



勝専寺本堂(浄土真宗、南部町南道)



高山寺多宝塔(田辺市)

今年度の主な事業内容

《埋蔵文化財》

- 1 京奈和自動車道橋本道路建設に伴う柏原遺跡発掘調査業務（橋本市）
- 2 県立医科大学跡地利用に伴う和歌山城下町遺跡発掘調査業務（和歌山市）
- 3 紀伊風土記の丘整備に伴う大日山35号墳古墳発掘調査業務（和歌山市）
- 4 江川小松原線道路改良に伴う蛭田坪遺跡発掘調査業務（御坊市）
- 5 上富田南部線道路改良に伴う大塚遺跡発掘調査業務（南部町）
- 6 平池周辺環境保全整備に伴う平池古墳群発掘調査業務（貴志川町）
- 7 古川高速関連河川改修に伴う徳蔵地区遺跡発掘調査業務（南部町）
- 8 藤倉城跡出土遺物整理業務（那智勝浦町）
- 9 徳蔵地区遺跡出土遺物整理業務（南部町・南部川村）
- 10 川辺・山口遺跡出土遺物整理業務（和歌山市）
- 11 和歌山県緊急雇用創出特別基金自供出土遺物整理業務（川辺町ほか）
- 12 国道424号道路改築事業に伴う徳蔵地区遺跡出土遺物整理業務（南部町・南部川村）
- 13 南部荘関連遺跡出土遺物整理業務（南部町・南部川村）
- 14 石ヶ谷遺跡出土遺物整理業務（吉備町）

《文化財建造物》

- 1 旧中筋家住宅主屋他保存修理設計監理業務（和歌山市）
- 2 旧中筋家住宅主屋他保存修理業務（和歌山市）
- 3 熊野那智大社社殿保存修理設計監理業務（那智勝浦町）
- 4 三船神社保存修理設計監理業務（桃山町）
- 5 奥院経蔵保存修理設計監理業務（高野町）
- 6 荒田神社保存修理設計監理業務（岩出町）
- 7 旧中筋家住宅未指定建造物調査業務（和歌山市）
- 8 十禅律院保存修理設計監理業務（粉河町）

お知らせとご案内

第13回(財)和歌山県文化財センター速報展 第6回巡回展のご案内

開催期間：平成15年7月1日(火)～15年9月18日(木)

開催場所：和歌山県立紀伊風土記の丘資料館(和歌山市岩橋1411)

主催：財団法人和歌山県文化財センター  
和歌山県立紀伊風土記の丘資料館

開館時間：9:00～16:30 閉館日：7/7・14・22・28 8/4・11・18・25 9/1・8・16

入館料：大人170円/高校・大学生80円/小・中学生50円(各種割引制度あり)

問合せ先：財団法人和歌山県文化財センター ☎073-433-3843

和歌山県立紀伊風土記の丘資料館 ☎073-471-6123

関連行事【公開講座】紀伊風土記の丘資料館研修室 先着40名

第1回7月20日(日)13:30～14:30

◎井石好裕 和歌山県文化財センター 「柏原遺跡の発掘調査」

第2回8月10日(日)13:30～14:30

◎鈴木徳子 和歌山県文化財センター 「旧中筋家住宅の修理工事から一部屋としつらえー」

第3回8月31日(日)13:30～14:30

◎富加見泰彦 和歌山県立紀伊風土記の丘 「古墳時代の食・住」

《編集後記：庭の紫陽花に雨蛙がチョココンと座っています。本年度もよろしくお願ひします。》